

2008年3月31日
日本アルコール産業株式会社

日本アルコール産業(株)株式の売却について

日本アルコール産業株式会社（J.alco（ジェー・アルコ）、本社：東京都港区、社長：林正憲）は、財務省関東財務局によって実施された株式一般競争入札の結果、本日3月31日付けをもって3万9999株の株式名簿書換を行い、新たな株主を迎えることとなりました。

このうち、3万9979株を落札した日本アルコール販売株式会社（本社：東京都中央区、社長：雨貝 二郎）が、J.alco 発行済み株式6万株のうち、約66.6%の株主となりました。

私ども J.alco は、2006年4月1日に政府全額出資の特殊会社として設立され、政府は設立後2年以内にその株式の売却を開始することとされておりました。本年1月、発行済み株式の約3分の2に相当する3万9999株について、財務省関東財務局により一般競争入札が実施された結果、入札に付された株式数全ての落札が決定されました。

その後、財務省関東財務局と落札者との間で株式売買契約の締結、売買代金の支払いが行われたことを受け、J.alco は本日3月31日付けをもって株主名簿書換えを行い、新たな株主を迎えることとなりました。引き続き政府が約33.3%の2万1株を保有しますが、3万9999株の売却が完了し、民営化への一歩を踏み出したこととなります。

そのうち、3万9979株を落札した日本アルコール販売(株)が、発行済み株式6万株のうち約66.6%の株主となりました。日本アルコール販売(株)は、全国規模の工業用アルコール販売会社で、物流及びアルコール製品に関するグループ企業を有しています。

J.alco は、日本アルコール販売株式会社をはじめとする新株主を迎えて以降も、アルコールの安定供給と、お客様に安心してご使用いただけるトレーサブルな製品供給に努めるとともに、製造から販売まで、一つのグループとしてのシナジー効果の発揮に貢献してまいります。

<本件に関するお問合せ先>

日本アルコール産業株式会社（J.alco）
企画管理部総務グループ広報担当 青島
電話：03-5511-8841